

はじめて ^{きゅうしゅうこくりつはくぶつかん}九州国立博物館に ^い行く人のための

あんしんガイド



^{きゅうしゅうこくりつはくぶつかん}九州国立博物館に ^い行きます。

^{きゅうしゅうこくりつはくぶつかん}九州国立博物館は 「きゅーはく」とも ^よ呼ばれています。

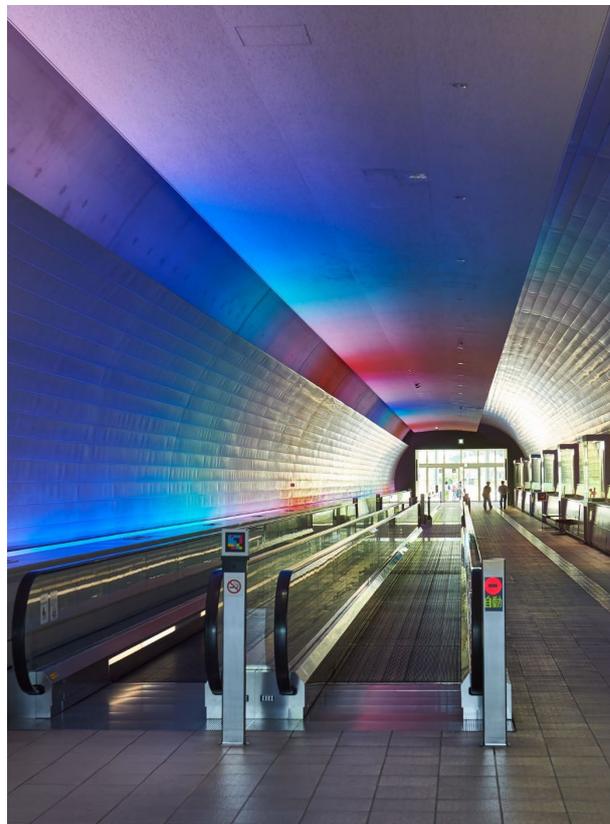
^い行く前に ^{まえ}これを ^よ読めば はじめて きゅーはくに

^い行くときも ^{あんしん}安心です。

だざいふてんまんぐう 太宰府天満宮から 行くには



いりぐち
トンネルの入口



なか
トンネルの中

だざいふてんまんぐう 太宰府天満宮から きゅう-はくに 行くには

なが 長い トンネルを とお 通ります。

トンネルの 中は 暗いけど

いろんな 色の 光が 次から 次に 表れて

まるで タイムスリップしているみたいです。

トンネルを 出ると 大きな 建物が 見えます。

きゅうしゅうこくりつはくぶつかん
九州国立博物館、きゅう-はくです。

きゅうはくの ^{ちゅうしゃじょう} 駐車場から ^い 行くには



^{ちゅうしゃじょう} 駐車場から ^{いりぐち} 入口に ^む 向かって ^{ある} 歩きます。

ガラスの かべで できた ^{おお} 大きな ^{たてもの} 建物が

^{きゅうしゅうこくりつはくぶつかん} 九州国立博物館、きゅうはくです。

ガラスには ^{もり} 森が ^{うつ} 映って きれいです。

かさを あずけます



かさを ^も 持っていたら

はくぶつかん ^{はい} ^{まえ} ^た ^い
博物館に 入る前に かさ立てに 入れます。

かさを ^い 入れたら かぎを ^と 取ります。

かぎは なくさないようにします。

かさを ^も 持って ^{はい} 入ると

^{みず} ^{さき} ^{さくひん}
水や かさの 先で 作品を きずつけてしまうことが
あるからです。

た
食べものや ペットボトルは カバンの
なか い
中に 入れます



た の むし だいこうぶつ
食べものや 飲みものは 虫の 大好物です。

むし だいじ さくひん た
虫は 大事な 作品も 食べてしまいます。

むし こ た
虫が 来ないように 食べものや ペットボトルは
カバンの なか い
中に 入れます。

きゅーはくの ^{なか}中に ^{はい}入ります



スタッフが ^{いりぐち}入口で むかえてくれます。

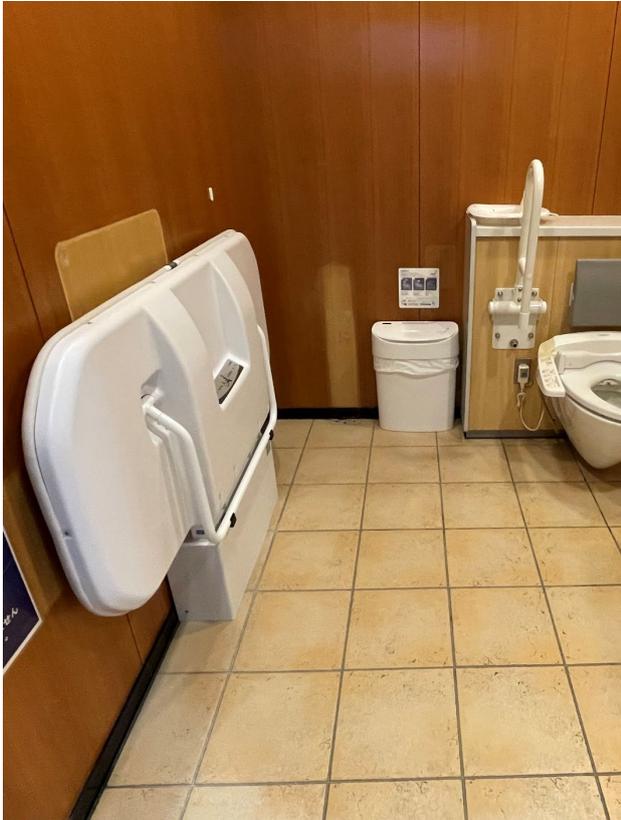
^{なか}中は とても ^{ひろ}広くて

^{てんじょう}天井も とても ^{たか}高いです。

^{ひと}人が たくさん いることも あるので

いっしょに ^き来た人の ^{ひと}そばに いると ^{あんしん}安心です。

トイレに ^い 行きます



^{かい} ^{ちか} ^{かいじょ} ^つ
1階 あじっば近くの トイレ(介助ベッド付き)



^{かい} ^{そうごうあんないちか} ^つ
1階 総合案内近くの トイレ(オストメイト付き)

トイレに ^い 行きたくなったら ^{ちか} 近くの トイレに ^い 行きます。

トイレは ^{かい} どの階にも あります。

^{かず} ^{おお} ^{かい}
数が 多いのは 1階です。

^{かいじょ}
介助ベッドやオストメイトがある

^{ひろ} ^{たもくてき}
広いトイレ (多目的トイレ) も あります。

カバンや コートなどを あずけます



コインロッカー



てにもつあず しょ
手荷物預かり所(クローク)

コインロッカーか ^{てにもつあず} ^{しょ} 手荷物預かり所 (クローク) に
^{にもつ} 荷物を ^{あずければ} ^{かる} 軽くなって ^{うご} 動きやすいです。

コインロッカーは ^{えんだま} 100円玉を ^い 入れて かぎを かけます。
^{てにもつあず} ^{しょ} 手荷物預かり所 (クローク) は スタッフに ^{にもつ} 荷物を
あずけて ふだを もらいます。

^{かえ} 帰るまで かぎや ふだを なくさないようにします。

わからないことは スタッフに き 聞きます



スタッフ



ボランティアスタッフ



けいび
警備スタッフ

きゅーはくでは いろんな スタッフが はたらいています。

うけつけ てんじしつ なか あお
受付や 展示室の中に いる スタッフ (青いストラップ)

あんない きいろ
案内をする ボランティアスタッフ (黄色いストラップ)

けいび
警備スタッフ (ぼうしを かぶっています) などです。

わからないことや こまったことが あったら

スタッフに き
聞きます。

よろこんで てっだ
手伝ってくれます。

あじっばで ^{あそ}遊びます



あじっば



インドネシアの ^{あそ}ゲームで遊ぶ



^{かんこく}韓国の おちゃわんと ^{あそ}おはしで遊ぶ

あじっばとは 「アジアの はらっば」という ^{いみ}意味です。

いろいろな国の ^{くに}おもちゃや ^{どうぐ}道具で ^{あそ}遊ぶことができます。

コマや ゲーム、パズルなど ^{たくさん}あります。

^{いりぐち}入口で くつを ^{ぬい}で ^{なか}中に ^{はい}入ります。

^{かね}お金は ^{いり}ません。



かみ ぼうし つく
紙の 帽子を 作る



たけ できた がっき な
竹で できた 楽器を 鳴らす



がいこく ふく き
外国の 服を 着る

あじっばでは ぬりえや ^{こうさく} 工作も できます。

スタッフに ^き 聞くと ^{なに} 何が できるか ^{おし} 教えてください。

^{つく} 作ったものは ^{おも} 思い出に ^で 持って ^も 帰ることが ^{かえ} できます。

^{たけ} 竹や ^{きんぞく} 金属で ^{できた} できた ^{がっき} 楽器を ^な 鳴らすと ^{おと} いろんな 音が
します。

^{ほか} 他の人が ^{ひと} 使っていたら ^{つか} 使っていたら ^お 終わるまで ^ま 待ちます。

^{あそ} 遊び終わったら ^お もとの ^{ばしょ} 場所に ^{もど} もどします。

てんじ み
展示を 見るために チケットを
か
買います



さくひん み てんじ い
作品を ならべて 見せることを 「展示」と 言います。

てんじ み か
展示を 見るためには チケットを 買います。

たくさんの人が ならんでいることが あります。

その時は 列に ならんで 待ちます。

チケットは いらないときも あるので

わからないときは スタッフに 聞きます。

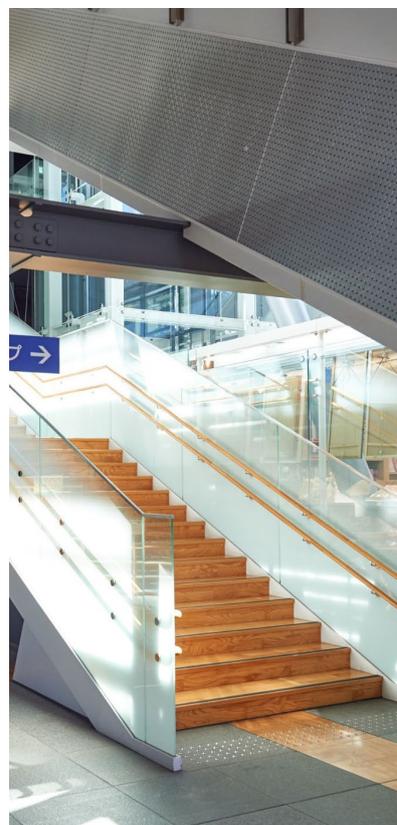
てんじ 展 示 を みる には 上 の 階 に 行 きます



エスカレーター



エレベーター



かいだん
階段

上 の 階 へ の 行 き 方 は 3 つ あり ます。

なが
長 い エスカレーター、スケスケの エレベーター、
かいだん
階段 です。

とくべつてんじしつ
特別 展 示 室 は 3 階 だ す。

い ろ い ろ な テー マ で 短 い 間 だ け 展 示 を し て い ます。

ぶん か こう り ゅ う てん じ し つ
文 化 交 流 展 示 室 は 4 階、一 番 上 の 階 だ す。

きょう
今 日 は こ こ に 行 きます。

ぶんかこうりゅうてんじしつ はい
文化交流展示室に 入ります



おおむかし どうぶつ しょくぶつ とって せいかつ じだい
大昔、動物や 植物を 生活をしていた 時代から
およそ ねんまえ えどじだい つか
およそ 200年前の 江戸時代までに 使われていたものを
み
見ることが できます。

こうこうせい い か むりょう い ぐち スタッフに ねん
高校生以下は 無料です。入り口で スタッフに 年れいが
わかるものを み
見せます。

てんじしつ なか くら
展示室の 中は 暗いです。

ひかり よわ さくひん まも
光に 弱い 作品を 守るためです。

てんじしつ
展示室では ルールを まも
守ります



てんじしつ はし ある
展示室では 走らずに 歩きます。

ほか ひと さくひん
他の人や 作品に ぶつかって
けがを するかもしれないからです。



さくひん
作品には さわりません。

さわって よごれたり こわれたり すると
みんなが 見ることが できなくなるからです。



と つか
メモを 取るときは えんぴつを 使います。

ペンの インク、シャープペンの しんで
さくひん
作品を きずつけてしまうことが あるからです。



さくひん しゃしん
作品の 写真を とることができます。

 この マークが ある さくひん
作品は とれません。

つか
フラッシュは 使えません。



どうが
動画は とれません。

てんじ 展 示 を 見 ます



がいこく い ぶね けんとうしせん もけい
外国に 行くための 船(遣唐使船)の 模型



はか なら うま
お墓に 並べられていた 馬の はにわ



がいこく ひと にんき
外国の人に 人気だった きれいな つぼ

てんじしつ ひろ
展示室は とても 広いです。

てんじしつ はい みぎ み
展示室に 入って 右から 見ていくと

ふる じだい み
古い 時代から 見ることも できます。

むかし ひと つか どうぐ はか なら
昔の人が 使っていた 道具や お墓に 並べていたもの、

がいこく ひと こうりゅう
外国の人と 交流していたことが わかるものがあります。

いっしょに き ひと き さくひん はな
いっしょに 来た人と 気になる 作品について 話したり

どこが す おし
どこが 好きか 教えあったりします。

さわったり においを かいだり
できます



けんとうし はこ へ や はい
「遣唐使が 運んだもの」という 部屋に 入ると
まるで ふね うえ かん
まるで 船の上に いるような 感じがします。

にほん とう いま ちゅうごく はこ
日本から 唐（今の中国）に 運んだものと
とう にほん も かえ
唐から 日本に 持って帰ってきたものが
おいてあります。 ほんもの
本物 そっくりです。

こう
お香や スパイイスを さわったり
においを かいだりすることが できます。

つかれたら ^{やす} 休みます



^{かい} ^{てんじしつ} ^{なか} ^{きゅう} ^{じょ}
4階 展示室の 中にある 休けい所

きゅう-はくの ^{なか} 中には いすが たくさん おいてあります。
つかれたら いすに すわって ^{やす} 休みます。

^{かい} ^{てんじしつ} ^{なか}
4階の 展示室の 中には
^{そと} ^{けしき} ^み ^{きゅう} ^{じょ}
外の 景色が 見える 休けい所も あります。

き も たか
気持ちが 高ぶったら
あんしんルームに はい
入ります



でいりぐち
出入口



へ や つき
部屋「月」



へ や はな
部屋「花」



へ や ゆき ひだり まちあいしつ みぎ
部屋「雪」(左)、待合室(右)



イヤーマフ、リラックスできるグッズ

ふあん き も たか
不安になったり、つかれたり、気持ちが 高ぶったり
パニックに なったら

あんしんルームに はい き も お つ
入って 気持ちを 落ち着かせます。

あんしんルームは かい
1階に あります。

へ や あ つか
部屋の ドアが 開いていたら 使えます。

へ や あか か
部屋の 明るさを 変えることができます。

か だ
イヤーマフの 貸し出しも あります。

のどが かわいたら



かい かい れいすいき
1階と 3階に ある 冷水器



かい れいすいき
4階に ある 冷水器

れいすいき 冷水器が ある ところで みず の 水を 飲みます。

れいすいき 冷水器は どのかい階にも あります。

かい かい れいすいき よこ
コップは 1階と 3階の 冷水器の 横に あります。

の お よこ ぽこ
飲み終わったら 横に ある ゴミ箱に すてます。

も の れいすいき ちか
も 持ってきた 飲みものも 冷水器の 近くの いすに
すわって の 飲むことが できます。

ほか 他にも いろいろな 場所が あります



とくべつてん
特別展



ミュージアムショップ



カフェ

みじか きかん てんじ
短い 期間だけの 展示も あります。

とくべつてん
特別展と います。

きねん みやげ か
記念に お土産などを 買いたいときは
ミュージアムショップに 行きます。

ごはんを た べたり お茶を の ちや 飲んでたりすることが できる
レストランや カフェが あります。

ひと
人が たくさん いることが あります。

たっぷり ^{たの}楽しんだら ^{かえ}帰ります



でいりぐち
出入口

あずけておいた ^とカバンなどが ^いあれば ^と取りに ^い行きます。

コインロッカーでは ^{えんだま}100円玉も ^とわすれずに ^と取ります。

^{でいりぐち}出入口から ^{そと}外に ^で出ます。

かさも ^もわすれずに ^{かえ}持って ^{かえ}帰ります。

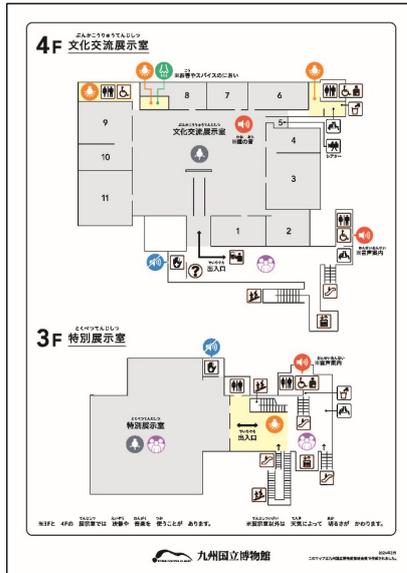
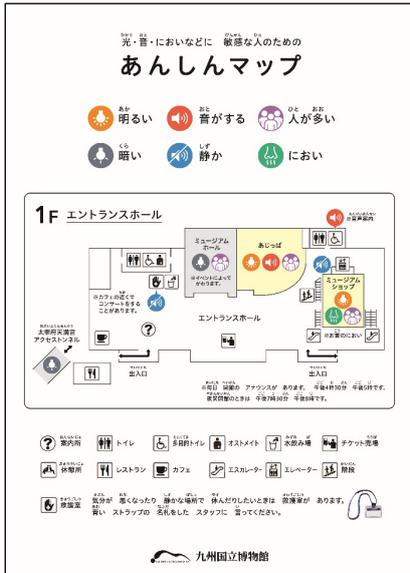
また ^くきゅーはくに ^{たの}来るのが ^{たの}楽しみです。

● あんしんマップ

く
暗いところや おと音がする ところなどが 書いてある

「あんしんマップ」が あります。

このガイドと 一緒に 使うと もっと 安心です。



あんしんマップ

● わからないことは…

わからないことが あるときは、 きゅうしゅうこくりつはくぶつかん 九州国立博物館に

れんらく 連絡します。

きゅうしゅうこくりつはくぶつかん 九州国立博物館

じゅうしよ 住所 〒818 - 0118

ふくおかけん だ ざ い ふ し い し ざ か 福岡県太宰府市石坂4-7-2

でんわ 電話 (ハローダイヤル) 050-5542-8600

ホームページ <http://www.kyuhaku.jp>



ホームページ



九州国立博物館

九州国立博物館 あんしんガイド

企画・編集：九州国立博物館 企画課 教育普及

発行：九州国立博物館

協力：福岡市立発達障がい者支援センター（ゆうゆうセンター）

発行日：2024年6月20日 二版 2025年5月23日

このガイドは九州国立博物館賛助会費で作成されました。